

2020 年度 新渡戸カレッジ学部教育コース 新入校生に向けて

新渡戸カレッジ校長代理 挨拶

皆さん、本日は、新渡戸カレッジへの入校おめでとうございます。

皆さんが希望に燃えて新渡戸カレッジでの勉学に踏み出すべきこの日ですが、本年は新型コロナウイルス感染拡大により緊急事態宣言が出されており、入校式で直接、皆さんにお会いできないことはたいへん残念です。外出自粛や大学への通学禁止などで皆さんにとっても心理的に不安やストレスが決して少なくない時と思いますが、北大生の中でも特にグローバルリーダーシップの修得を目指す皆さんは、この困難な状況を自律と熟考の機会に変えていってほしいと思います。

さて、新渡戸カレッジは、豊かな人間性を育むための学部横断的な特別教育プログラムです。

まず、本カレッジの名前の由来である新渡戸稲造について述べたいと思います。新渡戸稲造は、本学の前身である札幌農学校の第 2 期生で、札幌農学校の教官としても 11 年間在籍しました。また、新渡戸は国際連盟事務次長を務めるなど、近代日本きっての国際人であると同時に、「武士道」をはじめとする数多くの著作を発表した文筆家でもあります。

この新渡戸稲造の活動のように、幅広い分野にわたって、高い精神性と異文化理解、コミュニケーション能力を身につけた人材を数多く輩出することが、本学の理念です。そしてそれに即して、本学は 2013 年 4 月、新たな学士課程特別教育プログラムとして、新渡戸カレッジを創設したのです。

また、北海道大学は 7 年前に我が国のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択され、そのプランの下で、世界で活躍できる卓越したグローバル人材を育成するため、新渡戸カレッジの大学院生版である新渡戸スクールも 2015 年 4 月に開校しました。さらに、この間に、本学は外国人留学生を対象に英語で講義を行う現代日本学プログラム課程や Integrated Science Program をスタートさせました。そして、昨年度には、新渡戸カレッジと大学院特別教育プログラム 新渡戸スクールを統合し、学部教育コースと大学院教育コースからなる「新渡戸カレッジ」として、新たにスタートしました。それゆえ、皆さんは多文化交流科目や国際交流科目を通じて、本学で勉学を進めている数多くの留学生とも交流する機会が増えることと思います。

本カレッジの副校長には、杉江・校友会エルム会長にご就任いただいておりますが、新渡戸カレッジの特色の一つに、本学が掲げる「実学の重視」の実践

があります。これは、大学が社会とともに教育し、社会とともに研究するということであり、社会がもつ教育力、研究力を活用することです。新渡戸カレッジの学部教育コースは、本学の同窓生等の方々に新渡戸カレッジフェローやメンターとしてお迎えし、各界でご活躍されている先輩たちの貴重な経験や知見を積極的に皆さんに還元します。

近代日本の幕開けの時、札幌農学校の初期の学生たちがその伝統を築き上げたように、この新渡戸カレッジの伝統を作り上げて行くのは皆さんです。皆さんのこれからの積極的な活動を願っています。

新渡戸稲造は、21歳の時に、I want to be a bridge across the Pacific (我、太平洋の架け橋とならん) との志を抱きました。また、Knowledge becomes really such only when it is assimilated in the mind of the learner and show in his character (学ぶ者の心に深く浸潤し、人柄に表れるようになって初めて、知識は真の知識となる) という言葉も残しています。新渡戸は、それらの一貫した志を胸に、人生を歩み続けました。

この精神を現代に引き継ぐ新渡戸カレッジに晴れて入校した皆さんも、自らの夢と志を大いに膨らませてください。そして、その実現のために全力で自身の持つ力を発揮してください。

今後の皆さんの成長に心から期待しています。

最後になりましたが、この新渡戸カレッジの運営にご支援・ご協力をいただいている関係者の皆様に深く感謝を申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

2020年5月18日

北海道大学新渡戸カレッジ

校長代理 長谷川 晃